

F20

# ウェアラブル脳波計を応用した社会展開を目指した研究開発

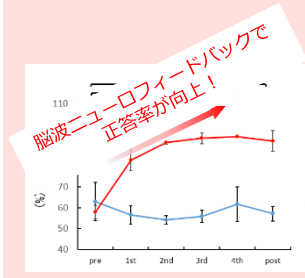


## 概要

ウェアラブル脳波計の開発とともに、脳波から有用な脳情報を取り出す技術を開発し、これらの研究成果を融合させて、研究成果の社会展開を目指しています。

脳波のニューロフィードバックトレーニングによる英語リスニング能力の向上に成功 (Chang et al., PLoS ONE (2017))

「Light」と聞いて日本人はRとLの聞き分けが苦手  
Right? も… Light?  
どちらか分からない。

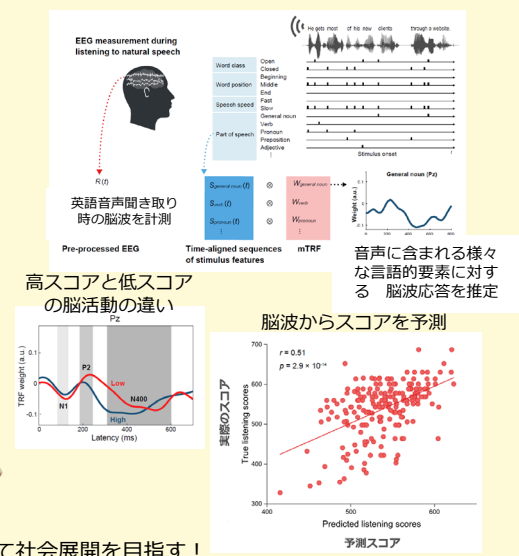


新しい学習法として、教育などでの応用が期待される。



ウェアラブル脳波計を利用して社会展開を目指す！

脳波から英語リスニングスコアを予測するモデルの構築に成功 (論文投稿中)



## 特徴

- ・ どこでも簡易に脳波計測が可能
- ・ 脳情報による新たな価値の創出
- ・ ハードとソフトの両面の開発

## ユースケース

- ・ 英語能力の評価・向上
- ・ 「やる気」などの可視化
- ・ コミュニケーションの向上

## 今後の展開

- ・ 日常空間での脳情報の取得
- ・ データの蓄積によるエビデンスの強化
- ・ 企業と連携した社会展開の推進

## ニューノーマル社会関連

左記の研究成果の利用は対面で行う必要が無いことから、ニューノーマル社会においても利用出来ると考えられます。

【お問合せ先】

国立研究開発法人情報通信研究機構 未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター脳機能解析研究室  
Mail : y\_naruse@nict.go.jp